

計画目標の種類と項目のイメージ

子ども・少子化対策計画（仮称）では、PDCA（計画・実行・評価・改善）のサイクルを回し、取組の進捗状況や達成度合いを県民の皆さんに「見える化」するため、以下のような目標を設定する予定です。

計画目標の種類とそれに対応する項目のイメージは以下のとおりです。

1 総合目標（仮称）

計画のめざすべき社会像「結婚・妊娠・子育てなどの希望が叶い、すべての子どもが豊かに育つことのできる三重」を踏まえ、計画全体を網羅する目標として設定します。目標項目の候補は次のとおりです。

合計特殊出生率

出生数

地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合
（幸福実感指標）

自分には長所があると感じている若者の割合

は「結婚・妊娠・子育てなどの希望が叶う」に着目した指標

は「すべての子どもが豊かに育つ」に着目した指標

詳細は資料2 - 1をご参照ください。

2 重点目標（仮称）

重点的な取組の進行管理を行うために設定します。重点的な取組の案である「男性の育児参画の推進」に対応した目標項目のイメージは次のとおりです。

男性の育児休暇取得率

「父親は育児に積極的に参加すべき」と回答する県民の割合

育児男子トーク実施回数

は様々な主体の取組によって得られる最終的な成果をあらわす指標

【アウトカム指標】

は県等が取り組んだことの直接的な事業効果をあらわす指標

【アウトプット指標】

3 モニタリング指標（仮称）

目標値は設定しないものの、対策を進める上でフォローが必要な指標として整理します。項目のイメージは以下のとおりです。

夫の家事・育児時間

理想の子どもの数